

1 関数  $f(x)=x[x]$  について、  $x=0$  で微分可能であるかどうかを調べよ。

2 次の関数の導関数を、定義に従って求めよ。  $f(x)=\frac{1}{x^2}$

3 関数  $f(x)$  が  $x=a$  で微分可能であるとき、極限值  $\lim_{h\rightarrow 0}\frac{f(a-4h)-f(a)}{h}$  を  $f'(a)$  で表せ。

4 媒介変数  $t$  で表された曲線  $\begin{cases} x=\sqrt{3}\cos t \\ y=\sin t \end{cases}$  について、  $t=\frac{\pi}{6}$  に対応する点における接線の方程式を求めよ。

5 曲線  $\sqrt{x}+\sqrt{y}=5$  上の、  $x$  座標が  $4$  である点における接線の方程式を求めよ。

6 不等式  $e^x>1+x$  ( $x>0$ ) を証明せよ。

7 次の関数を微分せよ。  $y=x^{e^x}$  ( $x>0$ )

8 次の関数の増減，凹凸，漸近線を調べ，グラフの概形をかけ。  $y=xe^x$

9

次の関数の最大値，最小値を求めよ。
 $y = x - 2\sin x \quad (0 \leq x \leq 2\pi)$

11

 $x \neq 0$  のとき，関数  $\sqrt[4]{1+x}$  について，1 次の近似式を作れ。

10

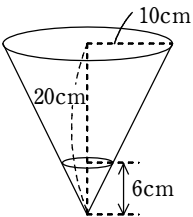
 $a$  を正の定数とする。不等式  $a^x \geq x$  が任意の正の実数  $x$  に対して成り立つような  $a$  の値の範囲を求めよ。

12

平均値の定理を用いて，次の極限を求めよ。
 $\lim_{x \rightarrow \infty} x\{\log(x+2) - \log x\}$

13

上面の半径 10 cm，深さ 20 cm の直円錐形の容器が，右の図のように上面が水平になるように置かれている。この容器に毎秒 3 cm<sup>3</sup> の割合で静かに水を注ぐとき，水の深さが 6 cm になった瞬間における水面の高さ  $h$  の変化率，水面の面積  $S$  の変化率を求めよ。



[1] 関数  $f(x) = x[x]$  について、 $x=0$  で微分可能であるかどうかを調べよ。

(解答) 微分可能でない。

$$\frac{f(0+h)-f(0)}{h} = \frac{h[h]}{h} = [h] \dots\dots ①$$

したがって

$$\lim_{h \rightarrow +0} \frac{f(0+h)-f(0)}{h} = \lim_{h \rightarrow +0} [h] = 0$$

$$\lim_{h \rightarrow -0} \frac{f(0+h)-f(0)}{h} = \lim_{h \rightarrow -0} [h] = -1$$

よって、 $h \rightarrow 0$  のときの①の極限はない。

したがって、 $f(x)$  は  $x=0$  で微分可能でない。

[2] 次の関数の導関数を、定義に従って求めよ。  $f(x) = \frac{1}{x^2}$

(解答)  $-\frac{2}{x^3}$

$$f'(x) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{1}{h} \left\{ \frac{1}{(x+h)^2} - \frac{1}{x^2} \right\} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{1}{h} \left\{ \frac{x^2 - (x+h)^2}{x^2(x+h)^2} \right\}$$

$$= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{1}{h} \left\{ \frac{-2hx - h^2}{x^2(x+h)^2} \right\} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{-2x - h}{x^2(x+h)^2} = -\frac{2}{x^3}$$

[3] 関数  $f(x)$  が  $x=a$  で微分可能であるとき、極限値  $\lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a-4h)-f(a)}{h}$  を  $f'(a)$  で表せ。

(解答)  $-4f'(a)$

$$\lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a-4h)-f(a)}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} \left\{ -4 \cdot \frac{f(a-4h)-f(a)}{-4h} \right\} = -4f'(a)$$

[4] 媒介変数  $t$  で表された曲線  $\begin{cases} x = \sqrt{3} \cos t \\ y = \sin t \end{cases}$  について、 $t = \frac{\pi}{6}$  に対応する点における接線の方程式を求めよ。

(解答)  $y = -x + 2$

$$\frac{dx}{dt} = -\sqrt{3} \sin t, \quad \frac{dy}{dt} = \cos t \quad \text{より} \quad \frac{dy}{dx} = -\frac{\cos t}{\sqrt{3} \sin t}$$

$$\text{であるから、} t = \frac{\pi}{6} \text{ のとき} \quad \frac{dy}{dx} = -1$$

$$\text{また、} t = \frac{\pi}{6} \text{ のとき} \quad x = \sqrt{3} \cos \frac{\pi}{6} = \frac{3}{2}, \quad y = \sin \frac{\pi}{6} = \frac{1}{2}$$

よって、接線の方程式は

$$y - \frac{1}{2} = -\left(x - \frac{3}{2}\right) \quad \text{すなわち} \quad y = -x + 2$$

[5] 曲線  $\sqrt{x} + \sqrt{y} = 5$  上の、 $x$  座標が 4 である点における接線の方程式を求めよ。

(解答)  $y = -\frac{3}{2}x + 15$

$$x=4 \text{ のとき} \quad y=9$$

$$\text{曲線の方程式の両辺を} x \text{ で微分すると} \quad \frac{1}{2\sqrt{x}} + \frac{1}{2\sqrt{y}} y' = 0$$

$$x \neq 0 \text{ のとき} \quad y' = -\sqrt{\frac{y}{x}}$$

$$\text{よって、} x=4, y=9 \text{ のとき} \quad y' = -\sqrt{\frac{9}{4}} = -\frac{3}{2}$$

したがって、求める接線の方程式は

$$y - 9 = -\frac{3}{2}(x - 4) \quad \text{すなわち} \quad y = -\frac{3}{2}x + 15$$

[6] 不等式  $e^x > 1 + x$  ( $x > 0$ ) を証明せよ。

$$f(x) = e^x - (1 + x) \text{ とすると} \quad f'(x) = e^x - 1 > 0 \quad (x > 0)$$

よって、 $x \geq 0$  のとき  $f(x)$  は単調に増加する。

$$\text{また} \quad f(0) = 0$$

$$\text{ゆえに} \quad f(x) > 0 \quad (x > 0)$$

$$\text{すなわち} \quad e^x > 1 + x \quad (x > 0)$$

[7] 次の関数を微分せよ。  $y = x^{e^x}$  ( $x > 0$ )

(解答)  $x^{e^x} \left( \log x + \frac{1}{x} \right)$

$$x > 0 \text{ であるから} \quad x^{e^x} > 0$$

$$\text{両辺の自然対数をとると} \quad \log y = e^x \log x$$

$$\text{両辺の関数を} x \text{ で微分すると} \quad \frac{y'}{y} = e^x \log x + \frac{e^x}{x}$$

$$\text{よって} \quad y' = x^{e^x} e^x \left( \log x + \frac{1}{x} \right)$$

[8] 次の関数の増減、凹凸、漸近線を調べ、グラフの概形をかけ。  $y = xe^x$

$$f(x) = xe^x \text{ とする。}$$

$$f'(x) = (x+1)e^x, \quad f''(x) = (x+2)e^x$$

$$f'(x) = 0 \text{ とすると} \quad x = -1$$

$$f''(x) = 0 \text{ とすると} \quad x = -2$$

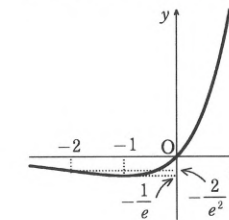
$f(x)$  の増減やグラフの凹凸は、次の表のようになる。

$x$	...	-2	...	-1	...
$f'(x)$	-	-	-	0	+
$f''(x)$	-	0	+	+	+
$f(x)$		変曲点		極小	
		$-\frac{2}{e^2}$		$-\frac{1}{e}$	

$$\text{また} \quad \lim_{x \rightarrow -\infty} f(x) = 0$$

さらに、 $\lim_{x \rightarrow -\infty} f(x) = 0$  より、 $x$  軸はこの曲線の漸近線である。

以上から、この関数のグラフの概形は、[図] のようになる。



$$\lim_{x \rightarrow -\infty} f(x) = 0 \text{ と } f'(x) < 0 \text{ であるから、}$$

17 次の関数の最大値、最小値を求めよ。  $y = x - 2\sin x \quad (0 \leq x \leq 2\pi)$

解答  $x = \frac{5}{3}\pi$  で最大値  $\frac{5}{3}\pi + \sqrt{3}$ ,  $x = \frac{\pi}{3}$  で最小値  $\frac{\pi}{3} - \sqrt{3}$  (8) (7.4)

$y' = 1 - 2\cos x$

$0 < x < 2\pi$  において  $y' = 0$  となる  $x$  の値は

$\cos x = \frac{1}{2}$  より  $x = \frac{\pi}{3}, \frac{5}{3}\pi$

$y$  の増減表は右のようになる。

$x = 0$  のとき  $y = 0$

$x = \frac{\pi}{3}$  のとき  $y = \frac{\pi}{3} - \sqrt{3}$

$x = \frac{5}{3}\pi$  のとき  $y = \frac{5}{3}\pi + \sqrt{3}$

$x = 2\pi$  のとき  $y = 2\pi$

$0 < \frac{5}{3}\pi + \sqrt{3}, \frac{\pi}{3} - \sqrt{3} < 2\pi$  であるから、 $y$  は

$x = \frac{5}{3}\pi$  で最大値  $\frac{5}{3}\pi + \sqrt{3}$ ,  $x = \frac{\pi}{3}$  で最小値  $\frac{\pi}{3} - \sqrt{3}$

をとる。

$x$	0	...	$\frac{\pi}{3}$	...	$\frac{5}{3}\pi$	...	$2\pi$
$y'$		-	0	+	0	-	
$y$			極小		極大		

18  $a$  を正の定数とする。不等式  $a^x \geq x$  が任意の正の実数  $x$  に対して成り立つような  $a$  の値の範囲を求めよ。

解答  $a \geq e^{\frac{1}{e}}$  (8)

$a^x \geq x$  ..... ① とする。

$a > 0$  であり、 $x > 0$  の範囲で考えるから、①の両辺の自然対数をとると

$x \log a \geq \log x$  ゆえに  $\log a \geq \frac{\log x}{x}$  ..... ②

$f(x) = \frac{\log x}{x}$  とすると  $f'(x) = \frac{1 - \log x}{x^2}$

$f'(x) = 0$  とすると、 $1 - \log x = 0$  から  $x = e$

$x > 0$  における  $f(x)$  の増減表は、右のようになる。

よって、 $f(x)$  は  $x = e$  で極大かつ最大となり、その値は  $f(e) = \frac{1}{e}$

したがって、②が  $x > 0$  の範囲で常に成り立つための条件は

$\log a \geq \frac{1}{e}$  すなわち  $a \geq e^{\frac{1}{e}}$

別解  $g(x) = \frac{x}{a^x}$  とし、 $x > 0$  のとき常に  $g(x) \leq 1$  が成り立つための条件を考える。

$g'(x) = \frac{1 \cdot a^x - x \cdot a^x \log a}{(a^x)^2} = \frac{1 - x \log a}{a^x}$

$g'(x) = 0$  とすると  $x = \frac{1}{\log a} = \log_a e$

ゆえに、 $x > 0$  における  $g(x)$  の増減表は右のようになる。

よって、 $g(x)$  は  $x = \log_a e$  で極大かつ最大となり、

その値は  $g(\log_a e) = \frac{\log_a e}{e}$

したがって、求める条件は  $\frac{\log_a e}{e} \leq 1$

ゆえに、 $\log_a e \leq e$  から  $\frac{1}{\log a} \leq e$

$x$	0	...	$\log_a e$	...
$g'(x)$		+	0	-
$g(x)$			極大	

よって  $\log a \geq \frac{1}{e}$  すなわち  $a \geq e^{\frac{1}{e}}$

19  $x \neq 0$  のとき、関数  $\sqrt[4]{1+x}$  について、1次の近似式を作れ。

解答  $1 + \frac{1}{4}x$  (8)

$x \neq 0$  のとき  $f(x) \approx f(0) + f'(0)x$

$f(x) = \sqrt[4]{1+x}$  とすると  $f'(x) = \frac{1}{4\sqrt[3]{(1+x)^3}}$

$f(0) = 1, f'(0) = \frac{1}{4}$  であるから  $\sqrt[4]{1+x} \approx 1 + \frac{1}{4}x$

20 平均値の定理を用いて、次の極限を求めよ。  $\lim_{x \rightarrow \infty} x[\log(x+2) - \log x]$

解答 2 (8)

関数  $f(x) = \log x$  は、 $x > 0$  で微分可能で  $f'(x) = \frac{1}{x}$

区間  $[x, x+2]$  において平均値の定理を用いると

$\frac{\log(x+2) - \log x}{(x+2) - x} = \frac{1}{c}$  ..... ①,  $x < c < x+2$

を満たす実数  $c$  が存在する。

①より  $x[\log(x+2) - \log x] = \frac{2x}{c}$

また、 $0 < x < c < x+2$  より  $\frac{2x}{x+2} < \frac{2x}{c} < \frac{2x}{x} = 2$

$\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{2x}{x+2} = \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{2}{1 + \frac{2}{x}} = 2$  であるから  $\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{2x}{c} = 2$

したがって  $\lim_{x \rightarrow \infty} x[\log(x+2) - \log x] = \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{2x}{c} = 2$

(8)

$\lim_{x \rightarrow \infty} x[\log(x+2) - \log x]$

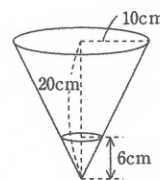
$= \lim_{x \rightarrow \infty} x \log \frac{x+2}{x}$

$= \lim_{x \rightarrow \infty} (\log(1 + \frac{2}{x}))^x$

$= \lim_{x \rightarrow \infty} (\log) \left( (1 + \frac{2}{x})^{\frac{x}{2}} \right)^2$

$= \log e^2 = 2$

13 上面の半径 10 cm、深さ 20 cm の直円錐形の容器が、右の図のように上面が水平になるように置かれている。この容器に毎秒  $3 \text{ cm}^3$  の割合で静かに水を注ぐとき、水の深さが 6 cm になった瞬間における水面の高さ  $h$  の変化率、水面の面積  $S$  の変化率を求めよ。



(10) (2.5)

解答  $h$  の変化率、 $S$  の変化率の順に  $\frac{1}{3\pi} \text{ cm/s}, 1 \text{ cm}^2/\text{s}$

水を注ぎ始めてから  $t$  秒後の水面の半径を  $r$  cm、水の深さを  $h$  cm ( $0 < h < 20$ )、水の量を  $V \text{ cm}^3$  とする。

$\frac{r}{h} = \frac{10}{20}$  より  $r = \frac{h}{2}$

$V = \frac{1}{3}\pi r^2 h = \frac{1}{3}\pi \left(\frac{h}{2}\right)^2 h = \frac{\pi}{12} h^3$

$V = \frac{\pi}{12} h^3$  の両辺を  $t$  で微分すると  $\frac{dV}{dt} = \frac{\pi}{4} h^2 \cdot \frac{dh}{dt}$

ここで、 $\frac{dV}{dt} = 3$  であるから  $h = 6$  のとき  $3 = \frac{\pi}{4} \cdot 6^2 \cdot \frac{dh}{dt}$

よって  $\frac{dh}{dt} = \frac{1}{3\pi} \text{ (cm/s)}$

水面の面積を  $S \text{ cm}^2$  とすると  $S = \pi r^2 = \pi \left(\frac{h}{2}\right)^2 = \frac{\pi}{4} h^2$

$S = \frac{\pi}{4} h^2$  の両辺を  $t$  で微分すると  $\frac{dS}{dt} = \frac{\pi}{2} h \cdot \frac{dh}{dt}$

$h = 6$  のとき  $\frac{dS}{dt} = \frac{\pi}{2} \cdot 6 \cdot \frac{1}{3\pi} = 1 \text{ (cm}^2/\text{s)}$